

令和4年度シラバス（福祉）

学番56 新潟県立八海高等学校

教科（科目）	介護総合演習	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（福祉コース）
使用教科書					
副教材等	東京商工会議所『福祉住環境コーディネーター検定試験2級（3級）公式テキスト』／教育図書『最新版楽しく学べるマナーの基本』				

1 学習目標

この科目においては、課題研究や事例研究などの学習を通して、専門的な知識と技術を深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的な創造的な学習態度を育てることを目標とする。
福祉住環境コーディネーター受験のための学習を通し高齢者・障害者の住宅政策、介護保険政策、障害者自立支援法、高齢者・障害者の疾病と住環境上の対応、住宅改修の基本的知識を取得する。

2 指導の重点

幅広く福祉について学び、生活を創造する力を身に付けるために、

- ①介護保険制度、障害者自立支援法、高齢者・障害者の疾病と住環境上の対応、住宅改修等の基本的知識を習得することを目指します。
- ②福祉住環境コーディネーター2級、3級の合格に向け、自ら学習しようとする態度を育てます。
- ③介護職員初任者研修の予備知識として学び、支援に活用できるよう想像する力の確立を目指します。

3 学習計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	福祉住環境コーディネーター 2級取得コース	副教材 資料、文献	第3章・第1章	高齢者に多い疾患別に見た福祉住環境整備 障害別に見た福祉住環境整備 高齢者を取り巻く社会状況と住環境 障害者を取り巻く社会状況と住環境 福祉住環境コーディネーターの役割と機能	6	提出物、学習態度
	第2章		高齢者の健康と自立 障害者が生活の不自由を克服する道			
5	福祉住環境コーディネーター 2級取得コース		第2章・第4章	障害のとらえ方 リハビリテーションと自立支援 高齢者の心身の特性 障害者の心身の特性 在宅介護での自立支援のあり方 福祉住環境整備とケアマネジメント 福祉住環境整備の進め方 福祉住環境整備関連職への理解と連携 相談援助の実践的な進め方	6	中間考査
	第3章		バリアフリーとユニバサルデザインを考える 生活を支えるさまざまな用具			
6	福祉住環境コーディネーター 2級取得コース		第5章	福祉住環境整備の共通基本技術 生活行為別福祉住環境整備の手法 福祉住環境整備の実践に必要な基礎知識	8	朝学習
	福祉住環境コーディネーター 3級取得コース		第4章	住まいの整備のための基本技術 生活行為別に見る安全・安心・快適な住まい		

7	福祉住環境コーディネーター 2級取得コース	第6章 福祉用具の意味と適用 生活行為別にみた福祉用具の活用	6	福祉住環境コーディネーター受 験2級3級（全員） 期末考査 朝学習
	福祉住環境コーディネーター 3級取得コース			
9	調査、研究	問題解決能力 を身につける	8	
10			8	
11			8	
12			6	
1			8	提出物、発表態度 学年末考査

4 課題・提出物

計 64 時間（55分授業）

- ・福祉住環境コーディネーターの学習時には、定期的に復習のための課題を出します。また、受験前には朝学習を行います。
- ・2学期以降の調査・研究では、毎時間ファイル提出を求めます。その他、ポスターや原稿の指示は別途指示します。

5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
社会福祉に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに自分で問題を解決する態度を身に付けている。	社会福祉に関する諸問題について思考を深め、基礎的な知識と技術をもとにまとめることができ、また、他者へ伝えるためのプレゼンテーション力を身に付ける。	社会福祉各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ福祉に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	社会福祉各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。

以上の観点を踏まえ、

- ・授業の取組（授業態度、発表の様子、予習復習の取組状況等）
- ・提出物（提出状況やその内容等）
- ・定期テスト

などから、総合的に評価します。

6 担当者から一言

福祉住環境コーディネーター検定試験の学習を通して、福祉に関する広い知識と身に付け、また自分で学ぼうとする姿勢を身に付けて欲しいと思います。調査・研究では、自ら課題を見つけ解決していく能力と自分で思考する力と、プレゼンテーション力を身につけてほしいと願っています。